

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 岩美高等学校

重点項目	基礎学力向上	提出日	令和3年 5月7日
------	--------	-----	-----------

1 学校目標（本校のミッション）	
<p>1 郷土を愛し、鳥取県及び地域に貢献する人財を育成する。</p> <p>2 自らを信じ、他者を敬い、礼節を重んじる人間を育成する。</p>	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
<p>(1) キャリア教育を推進し、自らの将来について主体的に考える力を養う。</p> <p>(2) 生徒の主体的な学びを支援し、解決する力、決断する力を身につけさせる。</p> <p>(3) 多様な生徒を理解し、一人ひとりの自己肯定感を伸長する。</p> <p><数値目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎力診断テストのD3層人数が1・2年生とも5月実施時と比較して12月実施時に2割減 ・第1志望での進路決定率→9割以上 ・UDを意識して教育活動を展開している教員の割合→8割以上（令和元年度72%） 	<p>○学校評価アンケートにおいて進路指導は充実している（保護者）91%、進路決定に役立っている（生徒）が85%で3年間を見通した系統的指導の成果が表れている。</p> <p>○保護者の86%が「一人ひとりを大切にした指導やわかりやすい授業が行われている」と回答している。</p> <p><数値結果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎力診断テストのD3層の生徒数は、1年生の国語以外は20%減を達成。基礎学力の定着とそのため学習への取組状況が一定程度改善されたものと考えられる。1年生の国語はもともとD3層の生徒が少なかったこともあり変化がなかった。 ・今年度も進路目標達成は100%であったが、第一志望での合格内定率は86.9%と目標をやや下回った。 ・学校評価アンケート（12月）の結果を見ると、UDを意識し授業の効果的な指導・支援に取り組む教員の割合は70.6%と目標に達しなかった。
3 実施事業	
<p>【高等学校課事業】</p> <p>(1) 鳥取県版キャリア教育推進事業（学校・職業選択説明会）</p> <p>(2) 高校における特別支援教育事業（こころのメモスキルアップ）</p> <p>【独自事業】</p> <p>1 重点項目【基礎学力向上】に係る関連事業</p> <p>(1) 基礎学力の定着と進路保障（「学びチャレンジ」プログラム）</p> <p>(2) 円滑な高校生活への移行（新入生宿泊ガイダンス）</p> <p>(3) 進路意識の高揚（インターンシップ等体系的な進路学習）</p> <p>(4) 特色ある教育活動の展開・健康教育（個別支援教育の充実・類型別諸行事の充実）</p>	
4 総合所見（成果・評価）	

新型コロナウイルス感染症感染予防対応のため、上記独自事業のうち宿泊ガイダンス、インターンシップ、福祉実習等多くの事業が実施できなかった。その中で代替の取組を行い生徒の意識向上に努めた。

令和2年度から1・2学年は基礎力診断テストを年度内に2回実施することで、学習到達度を図る材料とした。日々の学習の取組、長期休業中の課題に粘り強く取り組ませたこと、放課後補習への取組が功を奏したと思われる。来年度も継続して実施し実態を把握し、より基礎学力の向上に努める。家庭学習の定着や習慣化など課題は残るが、学校全体で体系的な取組となるよう実施し、基礎学力向上につなげたい。

※枚数任意